

新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場における 濃度不足のワクチン接種の疑いについて

新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場である相模原北メディカルセンター急病診療所（緑区西橋本5-3-21）において、濃度不足のワクチンを接種した可能性があることが判明しました。

8月25日（水）に接種した426名（1回目接種350名、2回目接種76名）のうち12名の方に濃度不足のワクチンを接種した可能性があります。12名の方の特定はできていません。

対象者426名の方全員につきましては、接種当日中に電話し、連絡が取れた方には、お詫びを申し上げるとともに、状況及び今後の対応について、ご説明させていただきました。接種を受けた皆様に、深くお詫び申し上げます。

1 経過

令和3年8月25日（水）

午前9時～午後5時 426名の接種が終了

午後5時過ぎ

- ・接種人数とワクチンを充填した注射器の本数を確認したところ、未接種のワクチン充填済みの注射器が12本分残っていることが判明
- ・希釈を実施した看護師に状況を確認、現地調査

2 原因

希釈作業は、希釈前と希釈済みのバイアルが明確に分離できるよう、色の違うトレイを使用し、作業を担当した2名の看護師が相互に誤りがないことを確認しながら行っていました。作業が進む中で、希釈済みのバイアルを希釈前のバイアルと誤認識し、希釈済みのバイアルに再度生理食塩水を注入したことにより、濃度が不足したワクチンを12本分調製したものと考えています。

3 今後の対応

希釈作業の手順やチェック体制を見直し、基本的な事項の確実な実施を毎回徹底するよう派遣された医療従事者へ指示するとともに、全接種会場の作業現場でミスにつながる行為への注意喚起を促す掲示を行います。

また、濃度不足のワクチンを接種した可能性のある対象者につきましては、新型コロナウイルスに対する十分な抗体が生成されない場合があるため、抗体検査を行い、抗体が確認できない場合には、再度ワクチン接種を行います。

なお、対象者の皆様には、改めてお詫びとともに、今後の対応を文書でお伝えします。

問合せ先

新型コロナウイルスワクチン接種推進課

直通電話 042-769-7200

対応責任者 有本、坂本